

瞳を輝かせて

Brilliant Eyes



▶▶▶プロフィール

あおき・りょうじろう (写真右) 平成2年生まれ。南中学校出身。好きな選手はブラジルのロナウド。得意プレーはミドルシュート。「全国2勝以上目指します」

すみ・さとる (写真中) 平成2年生まれ。北中学校出身。好きな選手は浦和レッズの鬨利王。得意プレーはヘディング。「全国大会では町民代表で頑張ります」

びとう・ゆうき (写真左) 平成2年生まれ。南中学校出身。好きな選手は特になし。打たれ強い精神力が持ち味。「応援よろしくお願いします」

▶愛知県大会決勝リーグ三好高校戦でディフェンスをする鷲見君(写真右端)

全国高校総合体育大会サッカー競技大会は、7月29日から埼玉県で開催。



「楽しもうぜ精神」でつかんだ全国への切符
刈谷高校から全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会へ出場
青木領二郎君(新屋)、鷲見慧君(三好丘旭)、尾藤祐基君(新屋)

サツカーのまちとして知られる刈谷市にある刈谷高校サッカー部。今年5月に行われた

全国高等学校総合体育大会の愛知県大会で準優勝し、7月29日から埼玉県で行われる全国大会に3年ぶりの出場を決めました。今回は、三好町出身で同部に所属する3年生の青木領二郎君、鷲見慧君、尾藤祐基君を紹介します。

公立高校ながら強豪として県内外にその名を知られ、現在およそ70人の部員が所属する刈谷高校サッカー部。白地に赤の斜め帯が入った伝統のユニホームは「赤だすき」という愛称で親しまれ、刈谷サッカーのシンボリックな存在となっています。チーム内でのレギュラー争いも厳しく、鷲見君は

スターティングメンバーのAチーム、青木君と尾藤君は交代メンバーのBチームです。しかし、試合に挑む気持ちは一つ。尾藤君は「例えばベンチに入らずに裏方に回っても、勝利を目指してチーム一丸ですから」とにこり。

チームの強みを3人は「気持ちの強さ」と口をそろえます。それを支えるのは厳しい練習と「楽しもうぜ精神」。3人には1年生のときに誓った「自分たちが主力になったときには、常に楽しんでサッカーをしよう」という決意がありました。青木君は「フィールド内はもちろん、ベンチやスタンドの全員で声を掛け合って気持ちを切らさず戦うことが大切」といいます。

そして挑んだ愛知県大会。大きな自信となったのが、準々決勝の中京大中京高校戦でした。1点リードされた後半、徐々に試合を押し始め、終了間際に同点。延長戦、PK戦の末、強豪から勝利をもち取りました。「あの勝利で、リードされていても焦ることがなくなりました。サッカーを楽しむ気持ちを持つと、プレーに余裕が生まれるんです」と鷲見君は振り返ります。

その自信が結果につながったのが、準々決勝を勝ち上がった4校による決勝リーグでの熱田高校戦。勝てば全国大会出場が決まる試合です。3人が3年生になった最初の練習試合で4対0の完敗を喫した因縁の相手。「その悔しさをばねにチーム一丸となって頑張ってきました」と3人は話します。熱田高校に先制点を許してもチームの士気は下がることなく、見事3対1の逆転勝ちで全国大会の切符を手に入れました。夢の全国大会。3人は「楽しもうぜ精神」を胸にチームの勝利を目指します。

おめでとう
おたんじょうび
7月

『追い駆けっこをして遊んでるのね』

シヨベルカーが好きなりゅつくん。音の出るおもちゃがお気に入りのななちゃん。車のおもちゃで兄弟仲良く遊ぶんだよ。いつも追い駆けっこをして汗いっぱい元気な二人に「一人に優しくてきんぎょになつてね」とお母さん。

おのりゅうせい
小野 流星くん(三好丘緑)

ななみ 平成17年7月23日生

ななみ 七海ちゃん(写真左)

平成19年7月15日生

父・慎吾さん 母・久美さん



『おままごとが大好き』

お出掛けすると、一人でどんどん遊びに行っちゃう好奇心旺盛なはるちゃん。おままごとが大好きで、お血運びのお手伝いができるようになったんだって。得意の歌や踊りをたくさん見せてくれるはるちゃんに「健康で思いやりのある子になつてね」とお母さん。

ほりはるな
堀 陽菜ちゃん(三好下)

平成17年7月5日生

父・貴博さん 母・文子さん



出場者募集

【9月のお誕生日コーナー】

▼応募期間 8月1日から5日まで(土・日・曜除く)

▼対象 9月生まれで3歳未満の子

▼応募方法 秘書広報課へ電話で☎(32)83357

※7月生まれの応募は、18人でした。(抽選により掲載決定)

広報クイズ

この写真は何の一部を写したものでしょうか？



ヒント…わたしはつぶしてリサイクルステーションに出します

【応募方法】①答え(例：雪の結晶)②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号

⑦広報みよしに対する意見、感想を記入し、はがき、ファクス、または電子メールで秘書広報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書カード500円分をプレゼントします。

【あて先・送信先】

はがき：〒470-0295

三好町役場秘書広報課(住所の記入不要)

ファクス：☎(32)60008

電子メール：✉hisayoko@town.aichi-miyoshi.lg.jp

【締め切り】7月14日(月)必着

【6月号の正解と当選者】答え：梅雨空(空梅雨も可)(全55通正解53通)磯村満代、植木幹夫、近藤由佳、佐藤栄美、櫻井和代、曾我部紀里、近田晃久、丸山麻衣、宮田なお、山川百合子(敬称略)

※ご応募いただいた個人情報、抽選以外の目的では使用しません。抽選後は破棄します。



お誕生日コーナーの応募者の中で希望する人は、お子さんの写真をひまわりネットワーク「みよしTODAY」の番組の中で紹介します。



新緑の三好を気持ちよく歩こう

三好町制施行50周年記念「三好路を歩こう」

身近で手軽な「歩く」運動を通して、健康づくりをしてみよう。6月7日、「三好路を歩こう」が開催されました。三好町制施行50周年を記念して行われたこのイベント。三好公園を出發して境川や保田ヶ池を經由し、出發地に戻る16・5キロのコースを、町内外から参加した223人は新緑の中、ウォーキングで汗を流していました。参加者の一人は「歩きながらいろいろな景色を見て気分爽快です」と息を弾ませていました。



異文化体験を通じた友好交流

コロンバス市学生来訪団表敬訪問

友好都市コロンバス市の高校生13人と引率者3人が、6月13日から17日まで三好町を訪れました。来訪団は町内でホームステイ。町内中学校や三好高校への体験入学などを通して日本文化を学び交流を深めました。また13日には、久野知英町長を表敬訪問。久野町長は「今回の滞在を通してぜひ文化交流を図ってほしい」とあいさつしました。その後、記念品の交換も行われ、両市町の現状などについて質問を交わしていました。



地域通貨で交流の輪を広げよう

助け合いチケットじゃんじゃん総会・交流会

何かを教わったときや手伝いをしてもらったときに、その対価として使う地域通貨「じゃんじゃんチケット」。その活動をもっと知ってもらおうと6月8日、助け合いチケットじゃんじゃん総会・交流会が中央公民館で行われました。57人の参加者は、じゃんじゃんチケットを使って折り紙や、二胡の弾き方、フラワーアレンジメントなどを体験。参加者の女性は「上手に花を飾ることができたので、大変うれしいです」と笑顔で話していました。



田んぼの中って気持ちいい

田植え体験(天王小学校)

天王小学校の5年生が6月4日、新屋地内で田植えを行いました。初めに、地元農家の久野文彦さんひまひこから苗の植え方を教わった後、はだいで水田に入り田植えを実践。児童たちはぬかるむ土に足をとられながらも、元氣いっぱい苗を植えています。5年3組の安達由紀さんあだちゆきは「田植えをしたのは初めてでしたが、泥んこになって楽しかったです」と笑顔で話していました。また秋には稲刈りを行う予定です。



一分一秒を争う実践訓練

水難救助訓練

尾三消防本部の水難事故対策訓練が6月3日から5日までの3日間、三好池で行われました。水難事故における救助技術の向上を図ろうと毎年行われているこの訓練。ボートが転覆し、行方不明者がいるとの想定で、人形を要救助者に見立てた救助訓練や、ゴムボートの取り扱い訓練などを実践しました。隊員たちは声を掛け合いながら、命を救う一分一秒を争う緊迫した空気の中で、懸命に訓練に取り組んでいました。



はっけよい、のこった!

すもう大会(三吉小学校)

児童たちに相撲を体験してもらおうと6月6日、三吉小学校で、恒例のすもう大会が行われました。全クラスの代表横綱28人が、全校児童の声援を受けながら校庭内の土俵に堂々と入場。1年生から5年生までの各学年の男女別優勝決定戦と、6年生男女4人ずつによるトーナメント戦で勝利を目指しました。6年生男子で見事優勝した成田優斗君なりたゆうとは「小学校最後の大会で優勝できてうれしかったです」と喜びをかみしめていました。

